



発行・お問合せ先

ひろしま・おかやま若者サポートネットワーク

事務局：NPO法人 どりいむスイッチ

TEL.084-983-1488 MAIL: wakasapo@dreamswitch.or.jp



広島県と岡山県で若者と関わる活動をしている団体のネットワーク



活動報告書

2023 2024 2025



だれかといたい だれかに聞いてもらいたい そんな若者のこころの居場所を地域に



ひろしま × おかやま
若者サポートネットワーク

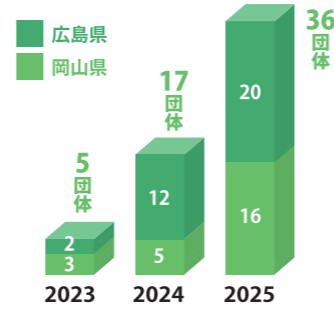




ひろしま × おかやま 若者サポートネットワーク

広島県と岡山県で若者と関わる活動をしている団体の、
ネットワークづくりを2023年からはじめ3年間活動してきました。
これからも仲間を増やしなが、若者と団体を応援していきます！

ネットワーク加入数の推移



WAKASAPO 3年間の歩み



「若者の心の居場所を地域に」
あごさるの
プロジェクト



START! 2023

6月 準備委員会による意見交換会開催

8~9月 ~おうえん基金~ 合同クラウドファンディング (首都圏・九州・さんいん)

9月 ネットワーク発足記念イベント REAL VOICE 上映会 (参加者 60名)

2023年度 ひろしま・おかやま若者おうえん基金
寄付総額: 988,150円(寄付者: 69名)

8月 講演会
「若者の心の居場所を地域に」
参加者総数 75名

7~8月 ~おうえん基金~ クラウドファンディング
ネットワーク HP 完成! 公開!

3月 2月 1月
若者支援団体スタッフを対象としたインタビューを実施 (予備調査)
オンライン/若者支援団体スタッフ対象 交流会 & 勉強会

1~3月 ~おうえん基金~ 助成 採択団体による事業実施
この事業を通して関わった若者数 629人

10~3月 ~おうえん基金~ 助成 採択団体による事業実施
詳しくは次ページ▶▶▶

2024年度 ひろしま・おかやま若者おうえん基金
寄付総額: 1,202,850円(寄付者: 87名)



11月 1月 ネットワーク加入団体のための 交流会 & 勉強会
この事業を通して関わった若者数 2,995人

2月 若者支援団体を利用する若者を対象としたアンケート&インタビューを実施! (予備調査)
7~12月 ~おうえん基金~ スタートアップ 助成 採択団体による事業実施
詳しくは次ページ▶▶▶

2025 ▶▶▶
8月 9月 若者支援団体を利用する若者を対象としたアンケート&インタビューを実施! (本調査)
9月 ネットワーク加入団体のための 交流会
11月 講演会 「若者が自分らしくいられるまちづくり」 (参加者総数 83名)
1月 ネットワーク加入団体のための 勉強会

この事業を通して関わった若者数 211人



3年間の「おうえん基金」 採択された団体の活動紹介



令和5

2023年度

ひろしま・おかやま若者おうえん基金

〈助成団体〉



一般社団法人 SGSG

食事を通じた若者居場所づくりとして、誰でもこれる「平日昼間のユース食堂」を開設しました。

NPO 法人 こどもシェルターモモ

児童養護施設等の卒業生への記念品購入・社会的養護を巣立った若者へ宅配するお弁当にかかる消耗品の購入。

NPO 法人 学習支援ヴァハウス

団体を利用する若者が自由に過ごせる場の運営や、夕飯を提供し、全員で食事をする機会をつくることができました。

NPO 法人 未来へ

社会的養護を巣立った若者が一人暮らし体験を実施するための施設の設備充実・社会的養護を巣立った若者を対象としたディナー会。

助成総額: **350,000円** / 4団体

支援を届けた若者: 延べ **629名**

令和6

2024年度

初の単独でのクラファン挑戦!

ひろしま・おかやま若者おうえん基金

〈助成団体〉



一般社団法人 SGSG 奉還町ユースセンター

ユースセンターの認知度を高めるポッドキャストの定期配信。

NPO 法人 子どもシェルターモモ アフターケア事業所 en

お弁当やミニおせちの配布、体調不良時のヘルプなど、退所者に向けたサポート。

NPO 法人 むかいしま seeds ユースセンターズオノミチ

10代が中心となった会の交流会「おのみち10代まんなか忘年会」のほか、10代を見守る大人に向けたイベントの開催。

NPO 法人 未来へ 社会的養護自立支援拠点事業 灯

退所者への弁当配布、一人暮らし体験の実施、緊急避難先の拠点充実の取り組み。

助成総額: **400,000円** / 4団体

助成を通して関わった人数: 延べ **2,995人**

令和7

2025年度

ひろしま・おかやま若者おうえん基金 スタートアップ助成

助成総額: **1,000,000円** / 2団体

この事業を通して関わった若者数: 延べ **211人**

広島県・岡山県で若者支援に取り組む新規団体や、事業拡大をめざす団体の立ち上げ期を後押しするため、活動基盤づくりに必要な費用を助成する制度です。

〈助成団体〉

河内サバイヴプロジェクト

若者自ら創りあげる河内町の学びと 交流の秘密基地「CO-KOCHI+」

〈対象者年代〉
・短大・専門学校・大学生年代 (18歳～22歳程度)
〈実施期間・回数〉
・リノベーション実施期間: 2025年7月1日～12月29日
・『名字に見る河内町』講演会 / 12月11日 (木) 15:00～16:00
実地研修: in むかいしま seeds

本事業を通して関わった若者の数: 実数 18名 / 延べ 82名



助成対象活動の報告

河内町のカフェ「sabaijai」3階を子どもたちの居場所として整備するため、近畿大学建築サークルと協働でリノベーションを実施した。地域資源の竹を使った家具や小上がりの製作、解体・室内整備を行い、温かみのある空間を創出した。



寄付者へのメッセージ

ご寄付を頂いた一つ一つの想いが、確かな形となり、地域の未来の担い子どもたちの居場所づくりにつながっています。心より感謝申し上げます。これからも『人と人』『若者と未来』をつなぐ活動を続けていきます。

〈助成団体〉

NPO 法人 manabo-de

子ども・若者に支援を届ける 新たな拠点の整備

〈対象者年代〉
・高校生年代 (16歳～18歳程度)～社会人年代 (26歳～30歳) まで
〈実施期間・回数〉
・毎週火曜日 13:00～18:00 (勝山地区 / 全20回)
・毎週木曜日 11:00～15:00 (落合地区 / 全13回)
実地研修: in プエンカミーノ

本事業を通して関わった若者の数: 実数 32名 / 延べ 129名



助成対象活動の報告

過疎化が進む落合・勝山地区で、行政と連携した新たなユースワークを開始した。落合振興局と図書館を拠点に、不登校・引きこもり・就労などの相談を、教職経験者などの専門職が支援。進路相談や居場所づくりにも取り組み、「なんとなくいても良い場所」として、これまで支援が届きにくかった地域の若者にもつながりが生まれた。



寄付者へのメッセージ

いつも私たちの活動を見守り、支えてくださり、本当にありがとうございます。
みなさんからのご寄付や応援の言葉ひとつひとつが、子どもや若者たちの「やってみたい」「ここにいていいんだ」という気持ちにつながっています。「ここがあるから、ちょっと安心できる」「また来ていいって思えた」。利用者が発したこの言葉は、寄付者のみなさんのおかげで引き出せた言葉だと思っています。まだまだ試行錯誤の毎日ですが、地域の中で、子ども・若者が自分のペースで居心地よくいられる場所をこれからも丁寧につくっていきたくと思っています。
引き続き、manabo-deをどうぞよろしくお願い致します。

活動発信のための講演会と交流会

若者が直面している
“社会課題の認知”を
広げる活動として
開催

「REAL VOICE」 上映会

日時 令和5年9月17日(日)
13:30 ~ 16:00
iti SETOUCHI 及び オンラインにて実施

ゲスト 山本 昌子さん (REALVOICE 監督)
山崎 一馬さん (REAL VOICE 出演者/広島県出身)



参加者数：60名
オンライン12名・現地48名



若者の
“こころの居場所”を
つくる取り組みを
行っている団体を
資金面で応援する
イベント

若者の心の居場所を 地域に

日時 令和6年8月9日(金)
13:30 ~ 15:30
iti SETOUCHI 及び オンラインにて実施

ゲスト 湯浅 誠さん (認定 NPO 法人 子ども食堂支援センター むすびえ)
田中 芙美枝さん (NPO 法人 むかいしま seeds 理事)
山崎 一馬さん (社会的養護経験者/広島県出身)



参加者総数：75名
会場33名・オンライン42名



若者の“らしさ”が
輝く社会を考える
課題と可能性を
共有するイベント

若者が 自分らしくいられる まちづくり

日時 令和7年11月23日(日)
13:00 ~ 16:00
iti SETOUCHI 及び オンラインにて実施

ゲスト 荒井 佑介さん (特定非営利活動法人サンカクシャ)
島田 宗輔さん (福山電業株式会社)
Nari. さん (福山で生活する若者)
久住 祐香さん (特定非営利活動法人どりいむスイッチ)



参加者総数：83名
対面50名・アーカイブ希望33名



2023 令和5年度

● オンライン交流会 参加者数：6団体12名

- 日時：令和6年2月9日(木) 10:00 ~ 12:00
- 内容：助成団体による活動報告と、意見交換



2024 令和6年度

● オンライン勉強&交流会 参加者数：6団体11名

- 日時：令和6年11月20日(水) 13:00 ~ 15:00
- 内容：よりよい事業運営のためのみつまなおしワークショップ
- 講師：會澤 裕貴さん (NPO 法人コミュニティ・オーガナイズング・ジャパン)



● 団体交流会@SGSG 参加者数：6団体14名

- 日時：令和7年1月20日(月) 10:00 ~ 14:00
- 会場：地域交流ステーション verde (SGSG)
- 内容：団体の活動拠点の見学、参加団体同士の交流



2025 令和7年度

● 団体交流会@むかいしま seeds 参加者数：11団体21名

- 日時：令和7年9月18日(木) 10:00 ~ 15:00
- 会場：むかいしま seeds
- 内容：団体の活動拠点の見学、参加団体同士の交流



● オンライン勉強&交流会 参加者数：13団体34名

- 日時：令和8年1月19日(月) 10:00 ~ 15:00
- 会場：ホテル1-2-3 福山+オンライン
- 内容：若者と関わる活動をしている大人の「価値観と自己理解」
- 講師：ユースワーカー協議会 竹久 輝顕さん・白川 陽一さん・稲葉 久之さん・蟹江 哲太郎さん



ひろしま・おかやまの団体を利用する若者の実態把握調査について

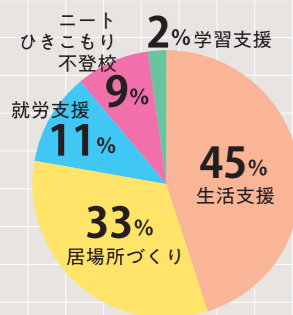
若者実態把握調査のねらい

「若者実態把握調査」は、本ネットワークにおいて広島・岡山の若者と若者支援団体の実態を把握することを目的に3年をかけて対象や規模を広げながら調査を進めてきました。
最終年度の本調査では、ネットワーク加入団体を利用する若者を対象にアンケートとインタビューを実施しました。

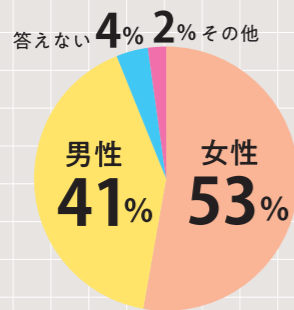
- 回答／広島県・岡山県で若者と関わる活動をしている15団体を利用する141名の若者
- 方法／Googleフォームによる、WEBアンケートの実施(所要時間10分程度)
- 期間／令和7年8月1日～9月30日(火)まで

141名の若者対象にアンケート

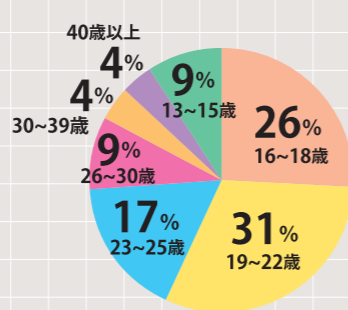
団体のメイン活動



性別



年齢



1年目
(2023年度/令和5年)
団体へのヒアリング
(インタビュー団体数: 7団体)

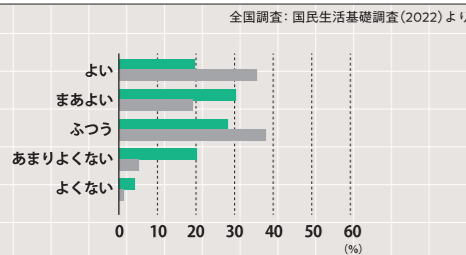
2年目
(2024年度/令和6年)
予備調査
(アンケート回収数: 19名)

3年目
(2025年度/令和7年)
本調査
(インタビュー: 5団体/5名の若者)
(アンケート: 141名の若者)

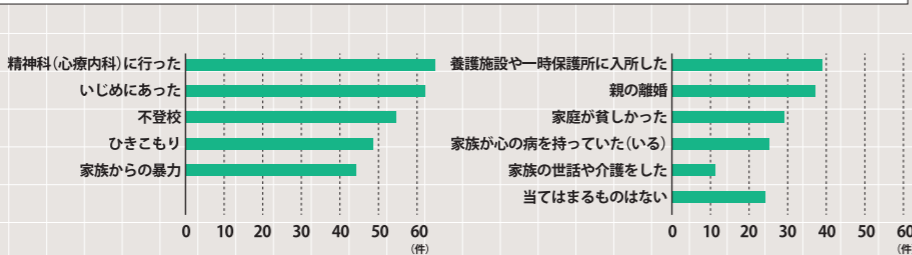


詳しい調査結果はこちらからご覧ください

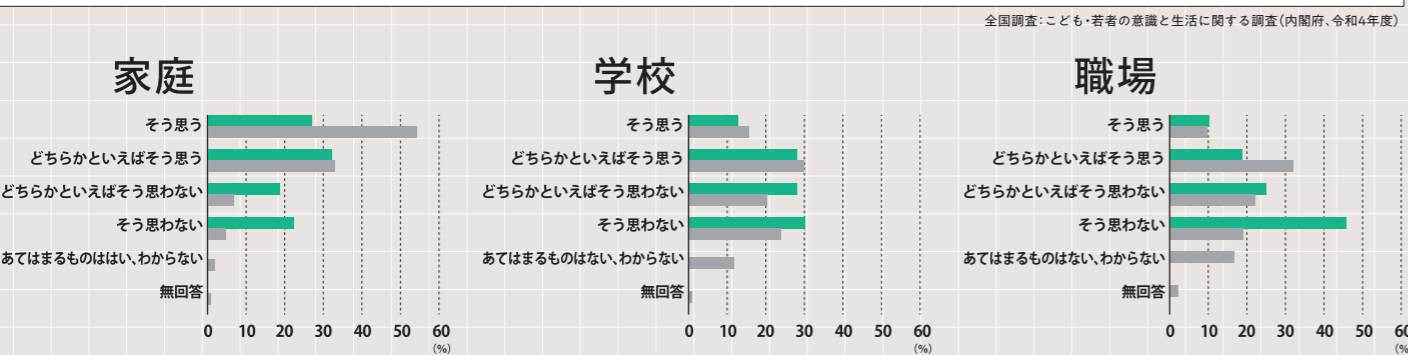
現在の健康状態は



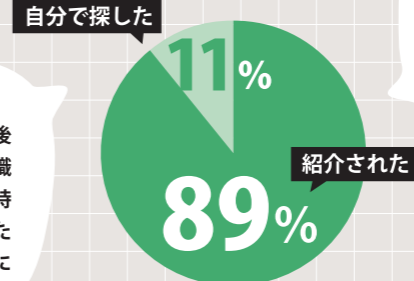
過去にあったできごとについて当てはまるもの



あなたにとっての居場所とは



この団体に出会った経緯は？

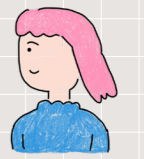


中学生の時にいじめられた経験を大学入学後も引きずっていた。就職が目の前に迫ってきた時に大学の講師をしていたスタッフに出会い、場に参加するようになった。

施設を退所した時に紹介された。その後他県に住んでいたが、数年経ち引っ越してきたため、利用するようになった。



ほーっと過ごすことが多く、基本的には一人の時間を楽しんでいる。



あなたはこの団体で主に何をしていますか？

1. スタッフとおしゃべりする。
2. 同じ団体に来ている若者とおしゃべりをする。
3. 相談をする。

ボランティアとしてイベント運営や参加をしつつ、時には利用者としてスタッフや利用者に話しかけたり、一緒にゲームをして過ごしたりすることが多い。(何も気負わず、気軽に話せるところ)。

この団体がひろく場に行くようになって、実生活の中で、変わったことがありますか？

1. 相談できる人が増えた。
2. 生活リズムが以前よりよくなった。(睡眠や食事など)
3. 就職活動が前向きにできるようになった。

今までは、だれかに相談しても隠すことが多かった。団体で過ごすようになって、相談することをプラスに捉えられるようになり、言えるようになった。

学校終わりに団体のひろく場に行くことが当たり前になった。時には休憩所として。時にはイベント運営として、行くことが日常になっている。

市役所や医療機関などにきちんと通って手続きなどできるようになった。

人の顔色を伺って生活していたため話すことがストレスだったが、スタッフと話す中でそこまで自分に対して負荷をかける大人が少ないと気付いてから、話すのが好きになってきた。



この団体がひろく場に行くようになって、気持ちや人付き合いの面で、変わったことがありますか？

1. 楽しいと感じることが増えた。
2. 自分のことをサポートしてくれる人がいると感じるようになった。
3. 自分がここにいてもいいと思えた。

色んな人と出会って、色んな考え方を知ることができる。見識が広がった。

自分の話を聞いてくれる。自分を装わなくても良い雰囲気があり、さらけ出すことができるようになった。



誰かと比較せず、否定することもなく一人の個人として関わってくれる。その関わりで「自分がここに居てもいい」と思えた。

やったことの無い体験をできる場で、物事に積極的に取り組めるようになった。

1 

アフターケア en

主に社会的養護を経験した若者の自立支援として就労、居住、法律相談、医療連携など生活全般の伴走支援を行っています。

2 

一般社団法人 SGSG

一般社団法人 SGSG

民営民営ユースセンター運営を中心にユニバーサルな視点で子ども若者の未来と社会を繋ぐ支援活動を行っています。

3 

ユースセンターズ オノミチ (NPO 法人むかいしま seeds)

広島県尾道市に在住や通う 10代を対象に、居場所づくり、企画の支援など、10代の「今」に寄り添うまちづくりを目指します。

4 

NPO 法人 未来へ

社会的養護の施設である児童自立支援ホーム男子寮・女子寮があり、社会的養護を巣立った子どもたちの支援をしている社会的養護自立支援拠点事業所、また障害児支援として、放課後等デイサービスを提供しています。

5 

NPO 法人とりで

子どもの貧困対策・子どもの居場所づくり、保護者への子育て支援の活動を行っています。また「地域が子育てを支える」を理念に、虐待の予防と保護を目指し活動しています。

6 

若者活動スペース ちゃんくす

主に発達障害の方や引きこもり、不登校など社会参加に困難を抱える若者や家族に対し、相談支援や日中活動の場の提供、関係機関との連携を通して社会参加を応援しています。

7 

特定非営利活動法人 青少年交流・自立・支援センター CROSS

不登校の居場所活動から始めた NPO です。ひきこもり地域支援センターと地域活動支援センターが主な活動です。

8 

特定非営利活動法人 ブエンカミーノ

生きづらさを抱えるすべての若者にひらかれた農業型の自立支援団体です。実践することは「共に働き・共に暮らし・自らを癒して前を向く手助け」

9 

家族と教育を考える会

家族と教育を考える会

当会は、人間関係の悩み・ひきこもり・不登校・虐待やいじめの後遺症などで苦しんでおられる方々の支援を行っています。

10 

NPO 法人 子ども・若者支援 マイブレイス

安心して出かけていける場、自分探しができる場、心の「居場所」を提供しています。

11 

みんなのお家ハルハウス (ハルハウス運営委員会)

倉敷市水島で子ども食堂の活動をきっかけに若者支援の拠点づくりを行っています！若者たちの未来を今、支える！

12 

NPO 法人 こどもステーション

毎月1回 第2金曜日 19:30～21:30 不登校・ひきこもりの親の会を開催しています。親の方だけでなく、不登校・ひきこもり経験者(20歳以上)や、絶対ひきこもり中の方の参加も可能です。

13 

学習支援 ヴァパウス

貧困家庭・発達障がい・不登校など、子どもたちの背景に関係なく、学びを通して未来を切り開きたいと願う青少年を、学習支援によって応援しています。

14 

NPO 法人 だっぴ

岡山県内の中高生・大学生を対象にキャリア教育プログラムを提供。これまでに10,000人以上の中高生が大人と対話の場に参加しています。

15 

あそび場グループ

一人ひとりの可能性を共に育む地域社会の実現をテーマに子育て支援を始め青少年の健全な育成のため活動しています

16 

一般社団法人 Domestic Violence and Child Abuse center HIROSHIMA

DV や児童虐待の防止と支援を行う団体です。相談支援、啓発活動、地域連携を通じて、子どもと家庭の安全と安心を守る取り組みを進めています。

17 

NPO 法人 manabo-de

我々manabo-de は、教育の概念を捉え直し、ゆるいネットワークの中で、自分らしく生きることを楽しむサポートをしています。

18 

一般社団法人 UME プロジェクト

空き家を活用した「子どもと多世代の居場所」を運営し、子どもの学習支援や体験活動、フードバンク、高齢者の移動支援を地域の学生ボランティアや関係者と協働して行っています。

19 

AnotherSchool しまなみ Base

学びに悩む地域の子ども達に、個別の支援と安心できる居場所を届ける拠点です。

20 

里山スコールののほな

「遊び」からはじまるワクワクで多様な「学び」がたくさん！きみが思う心地よいを大切に、

21 

一般社団法人 広島学びのサポートセンター

社会生活において何らかの困難を抱えている成人期までの方やそのご家族と一緒に考えながら、生きづらさをサポートします。

22 

一般社団法人 ベースキャンプ

広島を拠点に、子どもから大人まで、対話と学びを通じて個人と社会の Well-beingを育む場を提供する団体です。

23 

一般社団法人 コノヒトカン

世界一あったかい「想い」を缶詰に詰めて、子どもたちを応援するプロジェクトです。

24 

sabai+base

河内町を次世代へ繋げるプロジェクト。若者と一緒に秘密基地を創り、ともに未来へ羽ばたきます。

25 

りんごのいえ

府中市を拠点として、学校や家庭で「自分らしく」生活できず助けを必要とする若者が気軽に立ち寄れる居場所作りと「自分らしさ」を取り戻すサポートをしています

26 

相談支援事業所 ニカ

岡山県井原市で若者と関わる活動をしています

27 

一般社団法人 にじ-ず

10代から23歳までの LGBT(かもしれない人を含む) が集まれるオープンデーを定期開催している一般社団法人です。

28 

特定非営利活動法人 まんなか

閉園した幼稚園を暫定活用し、乳幼児親子・子どもの居場所、多世代交流ができるイベントを開催。

29 

株式会社 Steer ship (ひなたキッズスクール)

岡山県の民間児童保育施設、ひなたキッズスクールを運営し、小学生の居場所づくりを行っています。

30 

一般社団法人 まなびのみなど

「誰もが学びに出会う日常」とビジョンを掲げ、広島県の離島・大崎上島を拠点に教育×まちづくりの活動をしています。

31 

一般社団法人 やかけ小中高こども連合

地域で楽しみ、魅力を伝えるために活動する小中高生とサポートする大人たちの団体「YKG60」です

32 

株式会社 MORITOHITO

森づくり事業を軸に、出会い⇒体験⇒継続した関わり⇒雇用、と若者のグラデーションのある居場所づくりをします。

33 

NPO 法人 f.saloon

岡山県備前市で、地域のこどもたちの機会と選択肢を豊かにする活動をしている団体です。体験活動や居場所づくりを中心に活動しています。

34 

特定非営利活動法人 どりいむスイッチ

若者が自分らしく生きていける社会を目指して、居場所づくり、就労支援、自立支援、生活支援、ネットワークづくりなどを行っています。

35 

noName

岡山市で、10代が無料で過ごせるカフェを運営。評価や干渉なく「ありのまま」でいられる場づくりをしています。(2025.9スタート)

36 

NPO 法人 未来へ 灯/あかり (倉敷事業所)

社会的養護を巣立った子どもたちが社会生活で困らないように、一人暮らし体験やセミナーの開催、生活支援物資の支給を行っています。



2025年度 勉強会の集合写真

3年をふりかえって

ひろしまおかやま若者サポートネットワークは、広域を移動しながら懸命に生きるケアリーバー(社会的養護経験者)を支えたいという願いから、福山市を拠点に広島・岡山両県を繋ぐ初の試みとして歩み出しました。方向性を試行錯誤する中で、まずは「繋がり」という土壌を育むことに、力を注ぎました。基金創設を目指した寄付募集では、計画時の目標に届かず力不足を感じる場面もありましたが、そこから見えてきたのは、若者支援への認知の低さという壁であり、若者の声を社会に届ける「中間支援」の必要性でした。また、高い不登校率や県外流出の背景には、若者の声よりも大人の都合が優先されてしまう文化があるのではないか、という一つ

の仮説にも辿り着きました。今、若者が「ここにいたい」と思える地域をつくる試みが、両県に広がっています。若者が孤立せず、自分らしく生きていける社会を、若者とともに地域から拓くことに、これからも一緒に取り組んでいけるよう気持ちを新たにしています。模索の日々を支えてくださった寄付者の皆様、そして共に歩んでくださった36の参画団体の皆様のおかげで、私たちは「一人ではない」と強く実感することができました。3年間、本当にありがとうございました。

理事長 中村 友紀